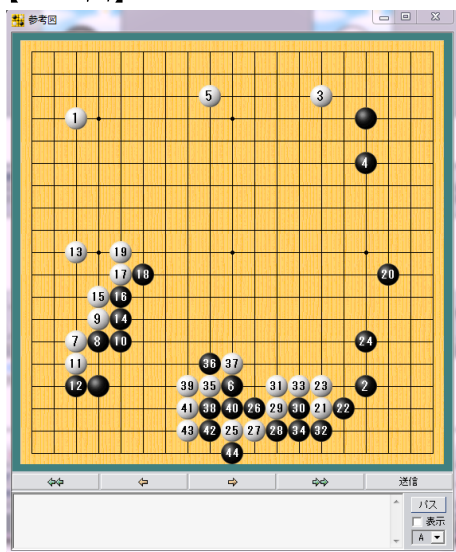


20. 最少手数勝ちパターン（GoTrend 君も学習する）

本研究の中で、黒の最短投了図は前述したハマリ図、42-2 図（白 11：通算 27 手目）であるが、GoTrend 君の少ない手数で投了は 88 手（2 回）、94 手（2 回）、96 手（1 回）があった。いずれも、初手小目であったが、左下での白石の頓死であったため、初手は全く影響していない。これらの学習後には、100 手未満で投了することはなくなった。GoTrend002 君との一例を掲載する。

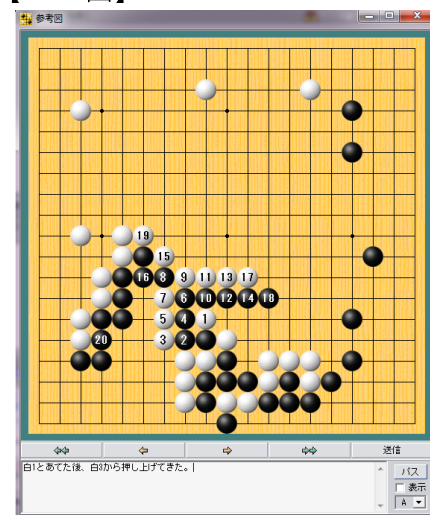
【60-1 図】



【60-1 図】 白 1 小目から、黒 20 の位置、白 21 のカカリ、白 25 のすべり、黒が遮って、黒 44 の 2 子アタリまで、初期の典型的な進行である。

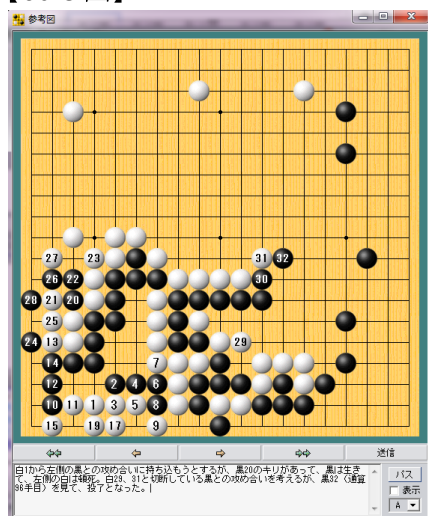
【60-2 図】 白 1 とあてた後、白 3 から押し上げてきて、気前よく、右側を捨て気味に押した。白 19 の封鎖に黒 20（通算 64 手目）とついで、黒は下辺左側も頂戴したつもりである。

【60-2 図】



【60-3 図】 白 1 から左側の黒との攻め合いに持ち込もうとするが、黒 20 のキリがあって、黒は生きて、左側の白は頓死。白 29、31 と切断している黒との攻め合いを考えるが、黒 32（通算 96 手目）を見て、投了となった。

【60-3 図】



短手数での投了は、下辺右側を捨て気味に打った上に、左側が頓死するケースであり、黒の三連星ツケノビ黒鳥の陣が膨大な地になっている。60-2 図白 3、5、7 とした場合、60-3 図黒 2、4、6 に対して、白 7 と 3 子を助ける余裕はなく、左下隅で生きるか、左辺の 2 子を切り取られないようにするかしかないようである。